

みんながよろこぶために

JKK

自分たちで考えて行動する

下校途中

「本当にあった話」

(地域の方からお電話を頂いたことを受けて)

マンガになりました

雨が
降っていた

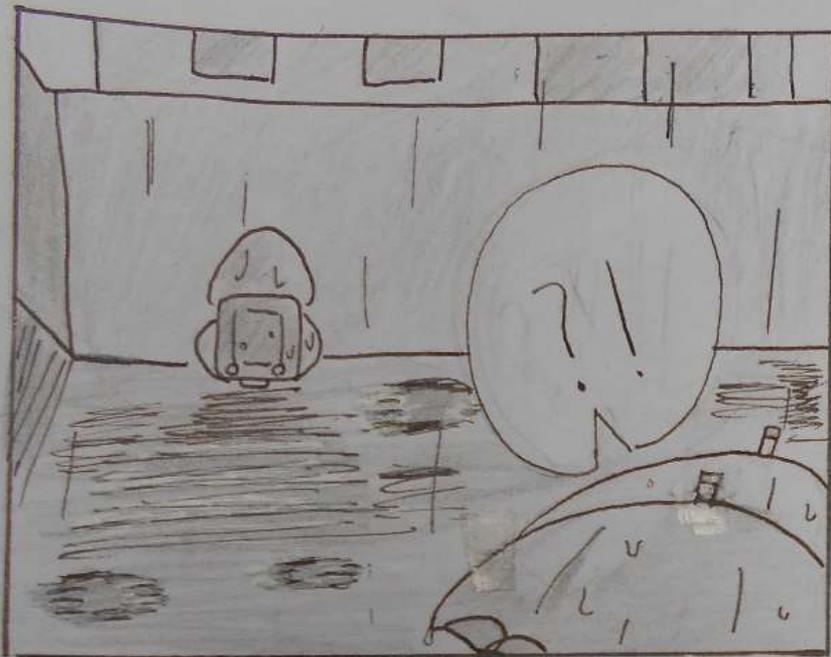
帰りみちの
ことだった。

3年生の
女子児童が、

頭が痛くて、
くらくらすると
言っ
て、
うずくまっていた。

通りかかった
私たち
5年生2人が、

思わず、
その児童に
傘をさしかけ、



私たちは、

濡れながらも、

声をかけた。

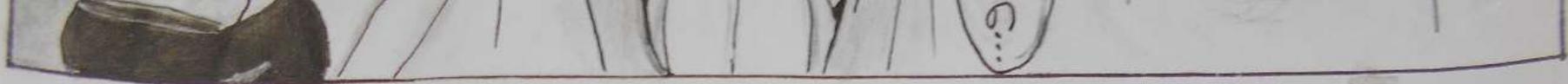
すると、

そこに偶然に
通りかかった

知らないおじさんが、

「どうしたんだい？」

と、声をかけてきた。



そのおじさんは、
私たちと一緒に、

その3年のお友達を
自宅まで
送り届けることとなった。

私は、

ランドセルを
持っ
てあげていた。

そのおじさんは、

とても
感激したらしく、

私たちに、

「いつまでも
君たちの優しさを
忘れないでね。」と

言ってくれた。



そして、

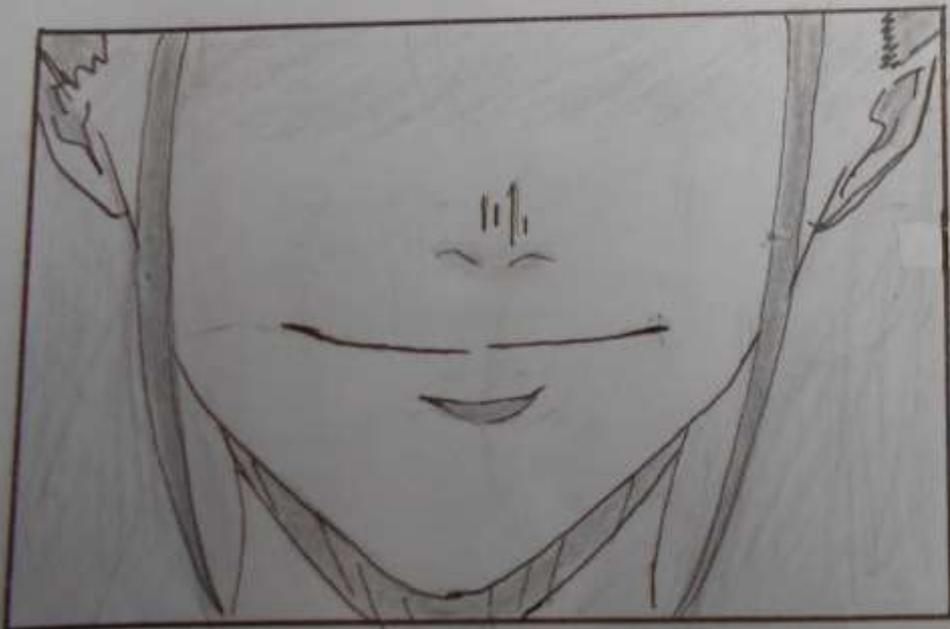
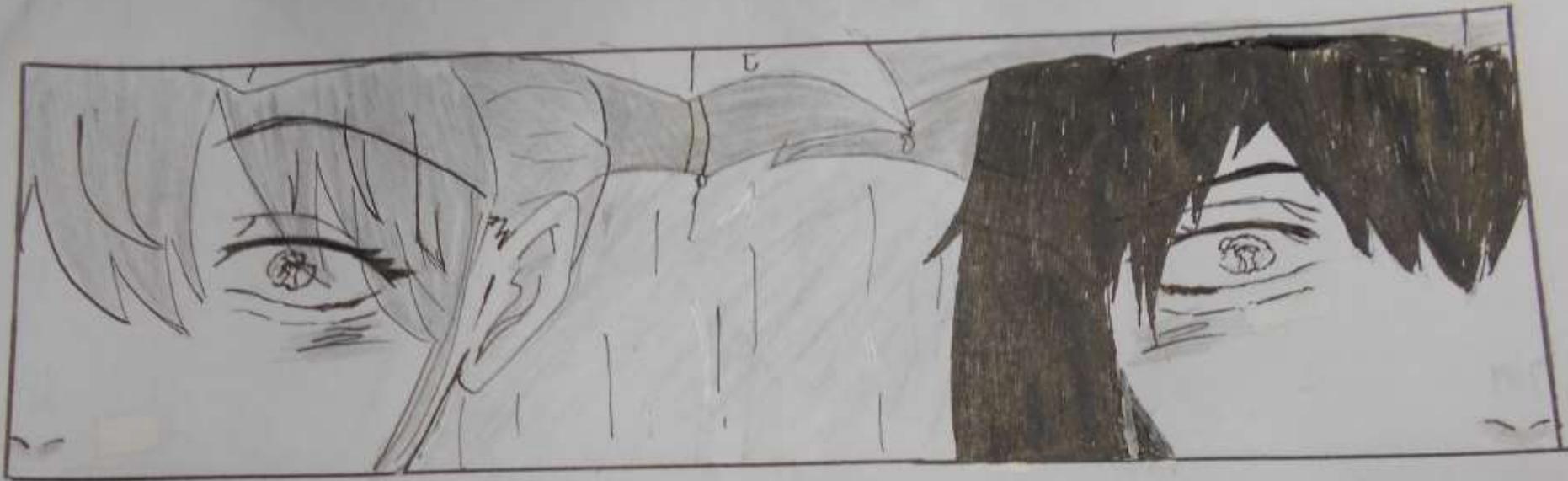
「このまま
で、
いてね。」

と、話してくれた。



でも、
私たちは、

ごく、
あたりまえのことを
やったただけだった。



後で聞いたことだが、

「今のコロナ禍の中で、

豊田小のあったかい

気持ちにふれ、

感激して、
学校に
連絡をしました。」

という
ことだった。

自分たちの行動が、
そんなに、

すごいことだったのか
と改めて思った。

下校途中

「本当にあった話」

(地域の方からお電話を頂いたことを受けて)

下校途中「本当にあった話」



後で聞いたこととか、「今のコロナ禍の中で、豊田小の
あったかい気持ちに感激して、学校に連絡をした。」という
ことだった。自分たちの行動が、そんなにすごいことだった
のかと改めて思った。

マンガ

下校途中

「本当にあった話」

(地域の方からお電話を頂いたことを受けて)

おしまい